

公益社団法人日本新体操連盟
平成 25 年度第 2 回理事会議事録

1. 会議名： 平成 25 年度第 2 回理事会
2. 日時： 平成 25 年 6 月 25 日（火） 13 時 00 分～14 時 00 分
3. 場所： 東京都港区西麻布 3-2-32
「霞会館 202 号室」
4. 構成員現在数： 16 名
5. 出席役員： 二木 英徳（会 長）朝倉 正昭（副 会 長）石崎 朔子（副 会 長）
福本 隆（副 会 長）荒井 隆（専務理事）関田史保子（常務理事）
池田真喜子（理 事）上村 郁代（理 事）谷口 裕代（理 事）
橋本 千波（理 事）
以上 10 名
6. 欠席役員： 渡辺 守成（常務理事）秋山エリカ（理 事）岡 久留実（理 事）
崇島 慎一（理 事）谷原 誠（理 事）山崎 浩子（理 事）
田中 元（監 事）
以上 7 名
7. 議案：
決議事項
第 1 号議案 平成 25 年度第 1 回総会について（定款第 4, 12 条関連事項）
第 2 号議案 その他

8. 議事の経過及び結果

(1) 議長による開会宣言

（公社）日本新体操連盟・定款第 30 条第 2 項の定めにより議長を会長二木英徳がつとめ、開会宣言を行った。

(2) 議事録署名人の選出

定款第 32 条により、議長は議事録署名人を福本隆副会長と荒井隆専務理事にする事を議場に諮り承認された。

(3) 定足数の確認

定款第 31 条の定めにより、理事会出席者数が 10 名であることが池田真喜子理事より告げられ、議決定足数を満たしている事が報告された。

(4) あいさつ

議長は挨拶をすませ、池田理事が進行を務めるよう依頼した。

(5) 議決事項

第 1 号議案 平成 25 年度・第 1 回総会について（定款第 4, 12 条関連事項）

議長は説明者として池田真喜子理事を指名し、池田理事は下記内容の説明を行った。

1. 総会について

「公益社団法人日本新体操連盟平成 25 年度第 1 回総会」が 6 月 25 日火曜日午後 14 時 30 分に開催する。報告内容の確認、スケジュール確認等を行いたい。

2. 平成 24 年度登録状況報告について

平成 24 年度は

加盟団体数	590 団体
登録選手数	9,059 名
愛好者数	32,980 名
審判員数	1,225 名
指導者数	1,505 名

であった。平成 23 年度は震災の影響を受け登録クラブ数が減少したが、本年度の登録はクラブ数が増加した。

3. 「第 21 回全日本新体操クラブ選手権」について

8 月 24 日から 26 日に千葉県「千葉ポートアリーナ」にて開催した。

他の大会にも言える事だが、東京体育館が改装工事期間中だったため、千葉ポートアリーナ、代々木第一体育館で開催された。

4. 「第 12 回全日本新体操クラブ団体選手権」について

9 月 8、9 日千葉県「千葉ポートアリーナ」にて開催した。

5. 「イオンカップ 2012 世界新体操クラブ選手権」について

大会は 9 月 28 日から 30 日にかけて「代々木第一体育館」にて開催した。

世界各国から選手が集まり、盛大に開催された。

6. 「第 13 回日本新体操祭」について

「イオンカップ」2 日目の 9 月 29 日「代々木第一体育館」で開催した。

参加者数は 46 クラブ 1431 名であった。

7. 「第 15 回全日本新体操チャイルド選手権」

「第 12 回全日本新体操キッズコンテスト」について

今回は 325 クラブ 675 名の参加者を集め、2 月 22 日から 24 日にかけて「千葉ポートアリーナ」にて開催した。

第 15 回大会から手具ありとなった。キッズコンテストでは内容を自由にした結果、参加している選手たちが楽しそうにしていた。

8. 「平成 24 年度セミナー」について

「初級集中講義」を 2 回

「上級セミナー」を 2 回

「審判セミナー」を 3 回

「海外セミナー」を 1 回

実施した。

「海外セミナー」は久しぶりに開催となったが、参加者には評判は上々だった。

以上が事業報告となる。

(質疑・意見)

二木会長より、クラブ選手権の観覧者数において、最終日に人数が減っている理由を尋ね、池田理事より 2 部リーグ参加クラブが終わり関係者が帰ってしまうためとの説明を受け、まだ新体操が一般客に浸透していないことの現れで一般客に浸透する方向性を求めた。

朝倉副会長より、イオンカップの視聴率について2%台の視聴率は他のスポーツなどと比べ相対的にはどのような評価なのかと質問があり、福本副会長より最近の視聴率は全体的に下がっている事。しかし、3%の視聴率は欲しい事が意見された。

二木会長より、フィギュアスケートが高視聴率なのは演技時間が長いからではないか、新体操の演技時間を検討してもいいのではと意見があった。

福本副会長より、キッズコンテストの審査員の立場から、選手は新体操の基礎ができているので綺麗な身体の動きであったと評価されていたことが報告された。

池田理事より、前回理事会で話が出ていたセミナー改革について、モラルの向上につながるような案作りをしたいと報告があった。

9. 収支決算について

「予算」について

予算はもしもの事を考え低めに作成している。

「登録費」について

震災の影響で登録数が増えた関係上入会金が予算より21万増の51万円の収入、会費収入が約65万円増の1251万2600円となった。

「世界新体操クラブ選手権」について

支出について、代々木第一体育館に備え付け設備がないため、全て自前で用意しないといけない事と、「イオンカップ」のTシャツでも動く広告として、お金がとられること等含めて体育館使用料が高かったことが影響して、支出が2億408万7691円となった。

「クラブ選手権・団体選手権」について

千葉ポートアリーナでは1時間に数万円の冷暖房費がかかるため、体育館使用料が増えた。

以上により、平成24年度事業活動収入合計は2億7575万8782円。事業費支出計が2億4372万1733円。管理費がほぼ予算計上通りで3320万4020円。事業費支出と管理費を合わせ、2億7692万5753円が24年度の支出合計となった
24年度収入から、支出を差し引きマイナス116万6971円が当期収支差額となった。

前期繰越金1467万4366円から当期収支差額マイナス116万6971円を差し引いた1350万7395円が次期繰越となった。

10. 貸借対照表、財産目録について

24度は流動資産が約116万円のマイナス、負債はなく0円。

よって、平成25年3月31日時点の正味財産は昨年度より、116万6971円減少し、基本財産、資産等含め3513万1451円となった。

(質疑・意見)

二木会長より、代々木第一体育館での広告料費について何故費用負担があるのか、どのような経緯で広告料費が生まれたのか質問があったが、池田理事より資料が示され、代々木体育館での規定によることが説明された。

二木会長より、イオンカップでスポンサー企業が47社もあるのは、渡辺常務の頑張りによるもので、他スポーツ大会でこれほどできているところはない事、ただし、支出は毎回精査して、支出を抑えて行く事の意見があった。

以上の後、第1号議案「平成25年度・第1回総会」について全会一致で可決された。

第2号議案「その他」について

議長は議場にその他議案が無いか確認したがその他の議案は出なかった。

(5) 閉会宣言

議長は他に質問、意見がないのを確認し理事会の終了を宣した。

この議事録が正確であることを証するため、議長ならびに議事録署名人は次に署名押印する。

平成25年6月28日

公益社団法人 日本新体操連盟 平成25年度第2回理事会

議 長 二 木 英 徳

議事録署名人 朝 倉 正 昭

同 荒 井 隆